

清瀬市立南部図書館見学多摩地域交流会に参加しました

2月8日（日）午後、多摩地域の住民運動の方々と一緒に、清瀬市の中央公園に作られた地域複合施設「まつぼっくる」の中に開館したばかりの清瀬市立南部図書館の見学と意見情報交換会を行いました。当日は午前中まで降雪のあった寒さにも関わらず、東久留米のほか西東京、東大和、国分寺などから、さらに清瀬の住民運動の方が大勢参加されました。

清瀬市は昨年中央図書館をはじめとする4つの図書館を廃止、いわばその代わりにこの南部図書館が作られたとも言えます。有名建築家の設計による目を惹く建物ですが、児童館等との複合で図書館としての使い勝手が良いとも思えません。200mほど離れたところにあった旧中央図書館の蔵書11万冊から一挙に3万冊へ縮小、常時職員が配置されていたレファレンス・ルームもなくなってとても代わりになるとは言えず、参加者の中からこれでは「分館どころか分室ではないか」との声も出ていました。

その後場所を変えて、2時間ほど意見交換を行いました。もっぱら新館と清瀬市の図書館政策について批判が述べられ、図書館廃止の流れが他の市にも及ぶのではとの懸念をする人もいました。今後これを機に多摩地域の市を横断した交流を行い拡げていきたいとの希望が表明され、会を終了しました。